学校番号	1015

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅱ	2	3	マイウェイ総合英語 マイウェイ総合英語 文法&ワーク

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な事柄について簡単な英語で表現するための知識をさらに理解しましょう。
・身近な事柄についての英語を聞いたり読んだりして、それについて学習した文法事項を活用して表現しましょう。
・英語学習について振り返りながら、協力してより主体的に学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な英文１文を聞き取り、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、本人自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることがでる。	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を、挿絵や写真を参考にしながら正しくその内容と要点を理解することができる。 ・日常的な内容でより具体的な事柄について書かれた英文を読み、その内容を理解することができる。	・日常的な事柄について、２文以上の英文でやり取りしながら、質問したり答えたりすることができる。 ・基本的な語や表現を用いて、2 文以上の英文でお互いの意見や情報を交換することができる。	・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、２文以上の文で説明することができる。 ・身近なトピックや日常的な事柄をテーマにして、相手に伝えることを意識しながら発表することができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なことについて２文以上のつながりのある文を書くことができる。 ・身近なトピックや日常的な事柄について、自分の意見やその理由を交えながら複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、文法、機能などの理解をさらに深めるとともに、これらの知識・技能を「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じてより正確に活用している。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で概要や要点、相手の意図などをさらに理解し、より適切に表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解をさらに深め、相手に配慮しながら、より主体的、対話的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	不定詞 SVO＋不定詞 知覚・使役動詞 疑問詞＋不定詞	話すこと （やり取り）	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 不定詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 不定詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 不定詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 不定詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 不定詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	中間考査			
	動名詞	話すこと （やり取り）	a: 動名詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: 動名詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 動名詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 動名詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 動名詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 動名詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 動名詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	期末考査			
2学期	分詞	話すこと （やり取り）	a: 分詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている	ペアワーク プレゼンテーション

		話すこと （発表）	a: 分詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 分詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 分詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 分詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 分詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 分詞ついて音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	: a: 分詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 分詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 分詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	中間考査			
	比較 関係詞	話すこと （やり取り）	a: 比較表現、関係詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: 比較表現、関係詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		書くこと	a: 比較表現、関係詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 比較表現、関係詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、英文を正確に読み、内容を理解できる。 b: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容を理解できる。 c: 比較表現、関係詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、英文を読み、内容の大枠を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	期末考査			
3 学期	仮定法	話すこと （やり取り）	a: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション
		話すこと （発表）	a: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	ペアワーク プレゼンテーション

	代名詞 接続詞	書くこと	a: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、身近な事柄について正確に書くことができる。 b: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書くことができる。 c: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について書こうとしている。	ワークシート 考査
		聞くこと	a: 仮定法、代名詞、接続詞について音声や機能を考えながら、正確に相手の意図を理解できる。 b: 仮定法、代名詞、接続詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図を理解できる。 c: 仮定法、代名詞、接続詞について音声や機能を考えながら、支援を活用し、相手の意図の大枠を理解しようとしている	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、身近な事柄について正確に表現できる。 b: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現できる。 c: 仮定法、代名詞、接続詞を使い、支援を活用し、身近な事柄について表現しようとしている。	音読 ワークシート 考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度